

木更津公明 NEWS 新年号

2012・1



「大衆とともに」の立党精神の 宣言から50周年、木更津公明 市議団、次の勝利へダッシュ！



1月4日朝、木更津駅東口にて新年の挨拶



8日、消防出初式にて挨拶する岡田議長

2012年が開幕しました。

木更津市公明党市議団は、

4日早朝から、毎年恒例の木更津駅東口にて新春の街頭挨拶から元気よく発進！今年が公明新聞創刊50周年・「大衆とともに」の立党精神の宣言50周年であり、また2014年の結党50周年に向かう **3つの50周年の出発の年**に当たります。



住/江 雄次 議員

新年あけましておめでとうございます。昨年度は大変お世話になり、感謝申し上げます。世界を震撼させた東日本大震災、人々は一日でも早い復興を切望しております。長引く不況も、政争に明け暮れている様では期待できません。「大衆と共に」の立党精神を貫く庶民の党、公明党の出番だと、自負しております。木更津の人口も13万を突破いたしました。一人でも多くの方々が、本当に住んでよかったと思える木更津をめざしてまいります。最後になりましたが、ご家族皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご報告と新年の挨拶とさせていただきます。



岡田 寿彦 議員

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年、議長に就任し、以来円滑な議会運営と市政発展のために努力を注いでまいりました。昨年は、東日本大震災により改めまして犠牲となられました方々のご冥福と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。「大衆と共に」との立党の原点を堅持し、現場第一に徹しがんばってまいります。本市は、昨年人口が13万人を突破し、今年三井アウトレットパークの開業、ちばアクアラインマラソンの開催、11月には市政施行70周年を迎えます。元気ある地域づくりを目指してまいります。

皆様の思いを受けとめながら.. (´o`) /



渡辺 厚子 議員

「復興元年」の開幕、明けましておめでとうございます。昨年の初当選以来、皆様からの温かく力強いご支援を頂きながら、議会質問・市民相談・各種研修等、無我夢中で取り組んでまいりました。心より感謝申し上げます。本年は、社会全体も木更津市においても「安心安全な生活」を築くために、確実な政策実現が求められていると実感しております。その政策実現にあたっては、皆様のお声と思いをしっかりと受けとめながら、「支えあう街・誇れる街」の構築のために行動してまいります。



岡田 貴志 議員

新年あけましておめでとうございます。昨年も、皆様から真心のご支援をいただき大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。本年は、「公明新聞創刊」、「立党精神の宣言」、「公明党結党」の3つの50周年がスタートいたしました。山口代表は、東日本大震災からの「復興元年」とするとともに「公明党は政党政治の要として、日本再建にチーム力を取り組む」といわれました。木更津市も人口の増加、金田地区の街開き・市政施行70周年と幾重にも新しい可能性が広がる年です。このチャンスと現場の声を活かすため「木更津公明党」一丸となって働いてまいります。



12月定例議会 渡辺厚子個人質問・答弁 (要旨)

雇用対策・就労支援について

- Q 金田東地区の開業にあわせて、どの程度の雇用が期待できるか。
- A (仮称)三井アウトレットパークと(仮称)ベイシア木更津金田店における雇用予定者数は、約2250人と聞いている。(経済部)
- Q 障がい者の就労支援にむけた取り組みはどの程度進んでいるか。
- A 木更津地域自立支援協議会の就労生活支援部会が、「ぶれジョブ」の先進地に視察に行きH23年11月18日に「ぶれジョブ木更津」が発足。現在1名のチャレンジドがサポート企業の協力を得て「ぶれジョブ」を開始している。(福祉部)
- Q 福祉作業所で働く人たちの賃金向上のために、作業所製作物品の販売場所として、庁舎2階の空きスペースなど市の施設を開放できないか。
- A 庁舎2階の一部スペースは、本年度は、就労継続支援事業者の1事業所が概ね週1回使用している。今後新たに使用希望があった場合、原則として催事の利用日以外の日時において、希望事業所間の調整の上で使用できるものと考えている。(財務部)
- Q シルバー人材センターの会員数と仕事量のバランスについて、今後、団塊の世代の会員が増えた場合でも対応できるか。
- A 受注業務量は減少しているが、就労日数の調整や、受託業務の拡大のための、なお一層のPRで対応していきたい。(福祉部)

市民力・地域力の充実について

- Q 若い世代のボランティア活動について、ユースボランティアの活動状況と課題は。
- A ユースボランティアは、本年度は115名(高校生・大学生等)が登録。「サマーキャンプ」や「生涯学習フェスティバル」などの行事に協力を頂いている。課題としては、登録メンバーは卒業と同時に抜けることになるので、アフタースクールボランティアへの加入促進もしていきたい。(教育部)
- Q 市から約5600万円の補助金を出している社会福祉協議会において、ボランティア活動促進事業費が30万円程度というのは、かなり小規模だと思うが、今後ボランティアの総合窓口としての機能強化を目指しているか。
- A ボランティア活動の総合窓口としての機能強化については、社会福祉協議会ボランティアセンターの窓口を広げ、ボランティア活動に参加意欲のある方と、ボランティアの派遣を望む方との円滑な橋渡しが可能となるため、木更津市ボランティア連絡協議会やNPO法人等の市民団体と社会福祉協議会と共に機能強化に努めていきたい。(福祉部)

次回の公明党(内房総支部)移動法律相談(無料)

2月23日(木)13:00~(1人30分程度)

君津市生涯学習交流センター 301会議室

※ 希望される方は、必ず事前に渡辺までご連絡下さい

木更津市議会議員 渡辺厚子

・住所 木更津市大久保3-9-5

・電話 0438-36-2669

・ホームページ

<http://www.komei.or.jp/km/atsuko/>